

## 2019年度神奈川県生協連主催 監事研修会

生協は「国民の自発的な協同組織」「人と人の結合」であり、「組合員の生活の文化的経済的改善向上を図る」相互扶助組織です。世界的にはSDGs(持続可能な開発目標)に代表されるように、協同組合-生協の位置づけは高く、大きな評価と期待がされています。この12月に発表された政府のSDGs実施指針改定版でも、「協同組合をはじめ、地域の住民が共助の精神で参加する公共的な活動を担う民間主体が、各地域に山積する課題の解決に向けて、自立と共生を基本とする人間らしい社会を築き、地域の絆を再生し、SDGsへ貢献していくことが期待されている。」と明記しています。

生協は地域社会の課題に誠実に向き合い、生協の事業や活動に反映させていくことが求められています。理事と監事は、独立・対等の立場で組合のガバナンスの一翼を担う存在として制度設計されています。

神奈川県生協連では、毎年、会員生協外にも広く呼び掛けて研修を開催しています。

- 日 時 / 2020年2月20日(木) 13:30~16:00
- 会 場 / パルシステム神奈川ゆめコープ本部 3階 A・B会議室
- テーマ / ①平成30年度消費生活協同組合に対する指導検査等の結果  
 ②年間時系列による監事監査のポイント 特に期末監査
- 主 催 / 神奈川県生協連
- 出席者 / 41名、17生協  
 神奈川県暮らし安全防災局暮らし安全部消費生活課指導グループ 増山 詩織さん  
 日本生協連総合運営本部法規会計支援部 土屋 良一さん、  
 宮部 好広さん



## おめでとうございます。福祉クラブ生協 設立30周年記念レセプション ~拡げよう!小さなたすけあい~

福祉クラブ生協(理事長:大場英美)は、1989年4月22日、1,020名の賛同者が集い、日本初の福祉専門生協としてスタートしました。現在、4つのセンターと、13の福祉施設を持ち、神奈川県下25の自治体・行政区に拡がり、組合員は1万6,000世帯を超えました。(2019年4月現在)

高齢になっても障がいをもって、住み慣れた地域で暮らし続けたい。そんな社会の実現に向けて、福祉クラブ生協の設立当初からの変わらぬ想いは、「市民参加型福祉」の実現です。福祉クラブ生協では、自分が長年住み慣れた地域を離れることなく、地域の中で育ててきた人間関係を保ち、たすけあいながら自分らしく暮らすための「在宅福祉支援システムづくり」をワーカーズコレクティブ(以下W.Co)と共に進めてきました。これからも新たなつながりをつくりながら「たすけあいは順番」・「困ったときはお互いさま」、そして「組合員どうしのたすけあい」として、これまで以上に組合員、W.Coメンバー、職員みんなで元気に活動してください。

街づくりはコミュニティの形成。地域づくりは市民協同の関係性をつくること。  
 たすけあい・支え合う地域づくりの実現を一緒にめざしましょう。

- 日 時 / 2020年2月9日(日) 12:30~15:00
- 会 場 / 産業貿易センタービル 1階 横浜産貿ホール(マリネリア)
- 参加者 / 参加500名



## 2019年度 医療福祉生協連 神奈川エリア方針討論集会

日本医療福祉生協連(高橋淳会長理事)は、医療福祉生協の2030年ビジョン(案)そして2019年度のまとめと2020年度重点課題(案)の共有と深化のために、医療福祉生協2019年度神奈川エリア方針討論集会を開催しました。日本医療福祉生協連の馬場康彰常務理事の報告・提起を受けて12グループでの討議を行い、課題を深めました。

- 日 時 / 2020年2月14日(金) 13:20~16:30
- 会 場 / 男女共同参画センター横浜 1階 ホール
- 出席者 / 74名(川崎医療生協、神奈川北央医療生協、医療生協かながわ、神奈川みなみ医療生協、福祉クラブ生協、日本医療福祉生協連、神奈川県生協連)
- 次 第 /
  - 司 会 : 秋田直樹(神奈川みなみ医療生協専務理事)
  - 開会挨拶 : 高橋勇美  
(医療福祉生協連理事・医療生協かながわ専務理事)
  - 報告・提起 : 「医療福祉生協の2030年ビジョン(案)」及び  
「2019年度活動のふりかえりと2020年度の重点課題(案)」  
馬場康彰(医療福祉生協連常務理事)
  - グループ討議と報告
  - まとめ : 児玉英憲(福祉クラブ生協専務理事)



世界規模で広がる  
認知症 介護の課題  
世界の認知症 2,155万人増え 48億人の増え  
世界の介護施設 22人の増え アジアの伸びの速い  
女性が増える

## 神奈川みなみ医療生協 介護・社会・私たちのこれからの考えよう

介護保険制度は2000年4月にスタートしました。制度導入の時に厚労省は、「かつては、子どもや家族が行うものとされていた親の介護ですが、高齢化が進むにつれ、介護を必要とする高齢者の増加や核家族化の進行、介護による離職が社会問題となりました。こうした中、家族の負担を軽減し、介護を社会全体で支えることを目的に創設」と説明しました。

あれから20年。私たちの前には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、国民の4人に1人が75歳以上という、超高齢社会に突入する2025年があります。更には、団塊ジュニア世代(1971~74年生まれ)が高齢者となり、65歳以上が約4000万人に達して高齢者人口(65歳以上)がピークになる2040年も、そう遠くはありません。色々な意味で、一人ひとりに、自分のこと・家族のこと、私たちを取り巻く社会やこれからのことを考えることが迫られています。

他人事ではない学習テーマであり、事務局が用意した印刷資料が足りなくなるほど多くの皆さまが参加されました。

また研修室への入室時には、受付で全員手の消毒。さすが医療生協です。



- 日 時 / 2020年2月21日(金) 14:00~16:00
- 会 場 / 横須賀市産業交流プラザ 大研修室
- 主 催 / 神奈川みなみ医療生協 社保平和部会 教育学習部会 共催
- 参加者 / 63名
- 次 第 /
  - 司 会 : 荷見 正則(神奈川みなみ医療生協組織部長)
  - 開会挨拶 : 長嶋 清四郎  
(神奈川みなみ医療生協理事・社保平和部会長)
  - ドキュメンタリー映画「毎日がアルツハイマー2」上映
  - 監 督 : 関口 祐加
  - 講 話 : 「介護保険20年目の状況と法人介護事業所の紹介」  
関 聡子(神奈川みなみ医療生協介護事業部長)
  - 開会挨拶 : 瀬野 加つ代  
(神奈川みなみ医療生協理事・教育学習部会長)



# 神奈川まるごと健康づくり

☆「健康」はすべての人の願いです。フレイルを予防するための重要なポイントは「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」です。年に一度は検診を受診し、結果を受けて改善の目標を作り、実践し、また翌年、検診を受診するという「健康のサイクルに取り組む」ことは健康づくりの土台です。「健康チェック」「健康チャレンジ」をこのサイクルの中で役立てていきます。

☆医療福祉生協の8つの生活習慣と認知症予防などの項目を基本にしながら、健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばすさまざまなきっかけづくりを行います。

☆生協や協同組合はもちろんさまざまな団体と連携を深め、世代を超えて楽しく健康づくりに取り組める場をたくさんつくり、神奈川まるごと健康づくりをめざします。

☆神奈川まるごと健康づくりは、組織の枠を超えたつながりづくり、生協自身の健康づくりにもつながっています。



## 健康チャレンジ2019の結果



- 提出 3,630枚 福祉クラブ生協キッズチャレンジ46枚
- 生協別
 

川崎医療生協 346	医療生協かながわ 822
神奈川北央医療生協 505	神奈川みなみ医療生協 546
福祉クラブ生協 709	
神奈川県生協連 702	

 (富士フィルム生協 378、ユーコープ 102、全日本海員生協 80、うらがCOOP 24、生活クラブ 23、他)

- 提出者年代
  - ①70代、②60代、③80代、④50代、⑤40代
  - 100歳代の方が2名いらっしゃいました。
- 男女比 男性：女性=17.2：82.8
- 選択項目
  - ①イキイキ快汗、②お口の健康、③マイチャレンジ、④だれかとおしゃべり、⑤バランスのよい食事、⑥規則正しい生活、⑦ぐっすり睡眠、⑧ほどほど飲酒、⑨禁煙に取り組む

● コメント欄には、2,159の楽しく取り組んだ様子がわかるコメントを寄せて頂きました。ありがとうございます。

- ・口を開けていた呼吸が鼻でできるようになりました。ピロピロを寝る前にしており、ぐっすり眠れます。
- ・毎朝新聞を声に出して読むようになり頭がスッキリするようになった。
- ・階段を使うことにしました。エレベーターを待つイライラも無く、いい運動になりました。
- ・ありがとうを沢山言えた日はハッピーな気持ちになれるので、もっと多用したいと思った。
- ・会話の中で自然と笑顔になれた。
- ・毎朝散歩をした。早起きでき、みんなに会えるのが楽しみになった。
- ・体重が1キロ減りました。野菜で満腹になり主食の量が減りました。
- ・間食を控えることで3食がおいしく食べられるようになりました。
- ・あいうべ体操とパタカラ。歯医者でパとタ、力の早口検査で年齢のわりにすごい速度と言われた。
- ・あいうべ体操をして息がしやすくなった。

### 医療生協の健康習慣

家庭で、地域で、生活習慣の見直しチェック。  
健康づくりは、くらしづくり、まちづくりです。

8つの生活習慣 + 2つの健康指標

毎日のくらしのなかで、こんなことに気をつけています!

**8つの生活習慣**

- ぐっすり快眠
  - 1時間以上続けて寝かない
  - 寝1時間はちゃんと休む
  - 布団でスレスレ寝る
  - お昼寝にも積極的に参加
- 正しい歯磨き
  - 正しい歯磨きをする
  - 歯垢を落とす
  - たばこの煙を吸う、吸わない
- 1日1回はしっかり歯みがき
  - 朝食、夕食、就寝後
  - 朝食後と夜、規則正しい生活
  - 歯垢や歯石の溜まりを予防
- きちんと3食
  - 朝食、夕食、就寝後
  - 朝食後と夜、規則正しい生活
  - 歯垢や歯石の溜まりを予防
- さっぱり禁煙
  - 1日、お酒1杯か、ビール2杯以上まで
  - 酒は週に数回まで
- バランスよく快食
  - 朝分1日0.5以下
  - 紅緑黄でバランスの良い食事
- ほどほど飲酒
  - 1日、お酒1杯か、ビール2杯以上まで
  - 酒は週に数回まで
- いきいき快汗
  - 週90分以上の運動
  - あいうべ体操、新カンプ
- 2つの健康指標
  - BMI 18.5~25
  - 体脂肪率 男 25%未満、女 30%未満
  - 腹囲 男 85cm未満、女 90cm未満

医療生協

提出者の皆さまには、更に「健康チャレンジ2 ピロピロ3033エクササイズ(腹式呼吸エクササイズ)」をお送りして取り組みを呼び掛けています。

ピロピロを1日30回、  
週に3日以上、  
3か月以上。



## かながわCo-ネット福祉健康委員会 2019年度 第1回 地区委員交流会開催

神奈川県協同組合は1986年に提携推進協議会を発足させ、1988年には協同組合が提携して取り組むべき課題を「すまよい神奈川づくり」基本構想として発表、様々な運動と事業に取り組んできました。2017年3月、協同組合・非営利協同組合の連携・協働を地域ですすめていこうと、神奈川県協同組合連絡協議会「愛称:かながわCo-ネット(コーネット)」を発足しています。福祉健康委員会は、「健康」と「福祉」に関する課題別委員会組織として提携推進協議会の時代から活動を開始し、かながわCo-ネットのもとで活動・交流を継続して行っています。今回は公開学習会として地区委員以外の一般参加もよびかけ、フードバンクと子ども食堂について学習しました。学習会是对談形式で参加者の皆さんと交流し、わたしたちになにかできることはないかを考える機会になりました。

■ 日 時 / 2020年1月27日(月) 13:30~15:30

■ 会 場 / JAグループかながわビル2階 講堂

■ テーマ / フードバンク×子ども食堂 ~わたしたちにできることは?~

■ 参加者 / 17団体45名

農協: JAさがみ、JAよこすか葉山、JA横浜、JAはだの、JAかながわ西湘、JA湘南、JA神奈川つくい、JA県央愛川、JAあつぎ、JA神奈川中央会

生協: ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、神奈川みなみ医療生協、医療生協かながわ、福祉クラブ生協、神奈川県生協連



- 内 容 /
- 司 会: 飯塚 美穂子 県推進委員(JA神奈川中央会)
  - 主催者挨拶: 郷野 智砂子 県推進委員会委員長 (ユーコープ理事)
  - 報 告 1: フードバンクかながわの現在の到達点と課題  
藤田 誠さん(フードバンクかながわ事務局長)
  - 報 告 2: 子ども食堂「よこすかなかながや」の活動紹介  
和田 信一さん(よこすかなかながや代表)
  - 対 談: わたしたちにできることは?  
藤田 誠さん(フードバンクかながわ事務局長)  
和田 信一さん(よこすかなかながや代表)  
郷野 智砂子(ユーコープ)  
河瀬 亜希(パルシステム神奈川ゆめコープ)



## かながわ省エネ・再エネネット連絡会学習会

神奈川の協同組合等11団体が集まり、2015年2月16日に発足したかながわ省エネルギー・再生可能エネルギー推進ネットワーク連絡会(略称:かながわ省エネ・再エネネット連絡会)は、学習・研修等の実施、かながわスマートエネルギー計画の進捗状況の把握や提言、情報提供と参加団体の運動や事業の共有を主たる目的に活動をすすめています。

今回は、前段でエネルギーをとりまく情勢がどうなっているのか、何が課題なのかを共有し、再生可能エネルギーの地産地消で地域活性化に取り組んでいる事例を学習しました。

■ 日 時 / 2020年2月10日(月) 14:00~16:00

■ 会 場 / 新横浜 オルタナティブ生活館 2階オルタリアン

■ 参加者 / 13団体 35名

生活クラブ生協神奈川、横浜みなみ生活クラブ、かわさき生活クラブ、湘南生活クラブ、ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、労協センター事業団神奈川事業本部、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、JA神奈川中央会、クリーンエネルギーライフクラブ、参加型システム研究所、県消団連、県生協連

■ 内 容 / 学習

- ①「エネルギーをとりまく情勢と課題」  
半澤 彰浩 生活クラブ生協神奈川専務理事
- ②「再生可能エネルギーの地産地消で地域を活性化させる」  
~湘南電力の取り組み~  
滝井 慎吾さん 湘南電力株式会社営業部部长

